

## 会社概要(2004年3月31日現在)

社名	東日本旅客鉄道株式会社 East Japan Railway Company
所在地	東京都渋谷区代々木二丁目2番2号
設立	1987年4月1日
資本金	2,000億円
社員数	68,857人
営業キロ	新幹線 1,052.9km 在来線 6,473.9km
駅数	1,697駅
1日あたりの列車本数	12,527本(2004年3月ダイヤ改正時)
1日あたりの輸送人員	1,608万人
事業内容	運輸業、駅スペース活用事業、 ショッピング・オフィス事業、 その他事業

## 営業収益の推移



## 営業利益の推移



## グループ会社一覧(2004年4月現在)



### 運輸

「安全第一・産最優先」とし、さらに速く、  
便利で快適な輸送サービスの提供に努めています

ジェイアールバス関東(株) / ジェイアールバス東北(株) / 東京モノレール(株)



### 駅ビル・ショッピングセンター

駅および駅周辺の保有資産の利便性を活用し、  
駅ビル・ショッピングセンターを開発、運営しています

(株)鉄道会館 / (株)大森プリモ / 蒲田ステーションビル(株) / 東京圏駅ビル  
開発(株) / (株)ルミネ / (株)新宿ステーションビルディング / 池袋ターミナル  
ビル(株) / (株)秋葉原 / (株)ボックスビル / (株)川崎ステーションビル /  
鶴見ステーションビル(株) / (株)横浜ステーションビル / (株)ルミネ茅ヶ崎  
/ 平塚ステーションビル(株) / (株)アポロン / (株)吉祥寺ロンロン / 国分寺  
ターミナルビル(株) / ジェイアール東日本商業開発(株) / 八王子ターミナル  
ビル(株) / 甲府ステーションビル(株) / 宇都宮ステーション開発(株) / 熊谷  
ステーション開発(株) / 水戸ステーション開発(株) / いわき中央ステーション  
ビル(株) / (株)錦糸町ステーションビル / (株)千葉ステーションビル / 青森  
ステーション開発(株) / 弘前ステーションビル(株) / 越後ステーション開発(株) /  
(株)ステーションビルMIDORI



### ホテル

シティホテル系、ビジネスホテル系など、お客さまそれぞれの  
ニーズに合ったホテル運営を展開しています

日本ホテル(株) / (株)ホテルエドモント / (株)ホテルメトロポリタン / 高崎ターミ  
ナルビル(株) / 仙台ターミナルビル(株) / 山形ターミナルビル(株) / 盛岡ターミ  
ナルビル(株) / 秋田ステーションビル(株) / (株)ホテルメトロポリタン長野



### 小売・飲食

駅やその周辺において、一層便利で楽しい時間と空間を  
提供することをめざし、店舗展開をしています

東日本キヨスク(株) / (株)日本レストランエンタプライズ / ジェイアール東日  
本フードビジネス(株) / (株)JR東日本ステーションリテイリング



### 商事・物流

グループ各社の業務活動が円滑に進むよう、  
資材調達、配送などの重要な役割を担っています

(株)ジェイアール東日本商事 / (株)ジェイアール東日本物流 / (株)ジェイ  
アール東日本ロジスティクスプラットフォーム



### 旅行・レンタカー

お客さまの旅行ニーズにお応えできるよう、  
旅行商品やレンタカーなどを提供しています

(株)びゅうワールド / ジェイアール東日本レンタリース(株)



### スポーツ・レジャー

健康な生活応援のためのフィットネスクラブや、  
余暇をサポートするレジャー施設を運営しています

(株)ジェイアール東日本スポーツ / (株)ガーラ湯沢



### 不動産管理

「人と環境にやさしい住まいづくり」をテーマに、  
戸建住宅・マンション・店舗などの開発・管理を行っています

(株)ジェイアール東日本都市開発 / (株)ジェイアール東日本住宅開発



### 情報・財務・人材サービス

グループ会社の情報処理に関する総合の情報サービス事業を行っています

(株)ジェイアール東日本情報システム / ジェイアール東日本ネットステーション(株)  
/ (株)ジェイアール東日本マネジメントサービス / (株)ジェイアール東日本バー  
ンネルサービス



### 広告・出版

駅・列車内の交通メディアも活用しながら  
情報発信を行っています

(株)ジェイアール東日本企画 / (株)東京メディア・サービス /  
(株)オレンジページ



### 清掃整備

お客さまに「清潔な旅」を提供するため、  
駅、列車内などの整備・清掃事業を行っています

鉄道整備(株) / 関東車両整備(株) / 東日本鉄道整備(株) / (株)東日本環境  
アクセス / 高崎鉄道整備(株) / 水戸鉄道整備(株) / 千葉車輛整備(株) / (株)  
ジェイアールテクノサービス仙台 / (株)東日本アメニテック / 秋田クリーンサ  
ービス(株) / 新潟鉄道整備(株) / 長野鉄道車輛整備(株)



### 建設コンサルタント・設備保守

鉄道の施設や機械設備、生活サービス事業の施設などの  
コンサルティングや保守を行っています

ジェイアール東日本コンサルタンツ(株) / (株)ジェイアール東日本建築設計事  
務所 / ジェイアール東日本ビルテック(株) / ジェイアール東日本メカトロニク  
ス(株) / ユニオン建設(株) / 東日本トランスポートック(株) / 東北交通機械  
(株) / 新潟交通機械(株)



### 支社別グループ会社

それぞれの地域特性に合った独自の事業を開拓・展開しています

(株)ジェイアール東京企画開発 / (株)ジェイアール神奈川企画開発 / (株)ジ  
ェイアールかいじ企画開発 / (株)ジェイアール宇都宮企画開発 / (株)ジェイ  
アール高崎商事 / (株)水戸サービス開発 / 京葉企画開発(株) / 東北総合サービ  
ス(株) / (株)ジャスター / (株)ジェイアールアトリス / (株)トッキー / (株)  
しなのエンタープライズ

# 編集方針

本報告書は、前年度に引き続き「ハイライト編」と「詳細編」の2部構成とし、JR東日本グループにおける環境および社会に対する取り組みを、正確にわかりやすくご紹介することを目的として発行しています。

本報告書のハイライト編は、2003年版がJR東日本における取り組みの全体をご紹介するのが目的であったのに対し、JR東日本グループにおけるいくつかの取り組みのなかでも特筆すべきものにスポットライトを当てて取材を行い、現場第一線社員の体験談を中心にご紹介することを目的としました。

詳細編に関しては、2003年版同様GRI<sup>1</sup>の持続可能性報告ガイドラインを参照し、「環境」「社会」「経済」の側面からまとめましたが、経済的側面においてはステークホルダーとの関わりを中心に据え、これまでのものよりわかりやすい形で開示しました。また、環境省の環境報告書ガイドラインも引き続き参照し、環境データの開示も積極的に行っています。

このほかに、今年度の工夫として、2004年4月1日に開催しました「第一回JR東日本ステークホルダー・ダイアログ」において交わされた、さまざまな専門家のステークホルダーとの対話の様子を、コミュニケーションページに掲載しました。

## 参照したガイドライン

持続可能性報告ガイドライン[ Global Reporting Initiative ]  
環境報告書ガイドライン( 2003年度版 ) [ 環境省 ]

## 対象期間

2003年4月～2004年3月( 実績データに関しては、2003年度を対象期間としましたが、活動内容については一部それ以前のもの、および本書発行直近のものも含まれます )

## 対象範囲

JR東日本とJR東日本グループ98社<sup>2</sup>

<sup>1</sup> GRI(Global Reporting Initiative)

環境面だけでなく社会面、経済面を含めた報告書の世界的なガイドライン「持続可能性報告ガイドライン」を発行している国際団体。  
UNEP( 国連環境計画 )などが中心に設立。

<sup>2</sup> JR東日本とJR東日本グループ98社

2003年度末時点。2004年4月には合併などにより94社となっています。



PAGE 6



PAGE 8



PAGE 9



PAGE 10



PAGE 11



PAGE 12



PAGE 14

# CONTENTS

会社概要・グループ会社一覧	2
目次、編集方針	3

## ハイライト編

トップメッセージ	4
環境配慮型車両E231系はこうして生まれた	6
クリーンな電力で列車を動かす	8
より速く静かな新幹線をめざして	9
駅ビルの生ゴミを肥料にリサイクル	10
エコドライブの推進で安全性も向上	11
安全・安定輸送へのチャレンジ	12
駅型保育で働く女性をサポート	14

## 詳細編

CSR	
ビジョン	17
CSRへの考え方	18

環境	
環境に関する基本的な考え方	20
目標と実績	22
環境マネジメント	24
環境会計と環境経営指標	26
グループ全体の環境負荷	28
地球温暖化防止への取り組み	30
資源循環への取り組み	34
化学物質管理	37
沿線での環境活動	38
環境コミュニケーション	40

社会	
社会との関わり	42
安全への取り組み	44
お客さまとの関わり	46
社員との関わり	48

経済	
経済的側面について	50

コミュニケーション	
ステークホルダーとの関わり	52
第三者審査報告書、来年度への展望	54
社会環境活動のあゆみ、編集後記	55